青果物

山形県　朝日町果樹組合連絡会議
『りんご等を台湾等へ』

【主な品目】

りんご等

【主な輸出先国・地域】

台湾、マレーシア、タイ、フィリピン等

【輸出取組の概要】

- ◆ スマートフレッシュ処理（鮮度保持処理）の実施。
- ◆ 現地バイヤーとの意見交換や現地視察を実施。
- ◆ 各国において、りんごキャンペーンやトップセールスの実施。
- ◆ りんご生産者、JA担当者を現地に派遣し試食販売等のPRを実施。

【輸出実績】（平成16年より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	2,110	64.0	10～12月
平成27年度	2,220	72.2	
平成26年度	1,260	38.9	

【効果があった取り組み】
・りんごの販売ブースでポスターを活用しラ・フランスをPRしたところ、新たに香港へのラ・フランスの輸出につながった。

【取り組む際に生じた課題】
- 現地で要望される鮮度や硬度、日持ち等の品質レベルの向上。
- 青森産りんごと比べて知名度の低さ。
- 他産地りんごとの競合による輸出量の伸び悩み。

【生じた課題への対応】
- スマートフレッシュ処理（鮮度保持処理）を行うことでの品質維持を実施。
- りんご生産者やJA等職員による現地での継続したプロモーション活動の実施。
- 山形県国際経済振興機構等の協力によるプロモーション活動や販路開拓。
- りんご以外の品目（ラ・フランス）のポスター掲示によるPR。

現地スーパーでのトップセールスの様子

【対応の結果】
- 中生種から晩生種まで切れ間のない販売が可能。
- 品質は向上したが、鮮度保持処理技術の導入に伴い輸出経費が増加。
- 雪害による影響もあり生産量が減少したことに加えて国内出荷の価格が高かったため、輸出向けりんごの絶対数量を確保できず輸出量が減少。
- ラ・フランスの新たな国（香港）への輸出開拓。

現地でのフェアブース

【今後の課題・展望】
- 品質の向上、販路の開拓を行い、平成30年までに輸出量100トンを目指す。
- 輸出事業による更なる農家の所得向上。
- 国内出荷並みの販売利益補償による輸出規格に合ったりんごの確保。
- 輸送費の高騰など年々増加する出荷経費の低減対策。

【活用した支援・施策】 平成28年度やまがた農商工連携ファンド事業

【連絡先】 担当者名：菅井、TEL：0237-67-2114（朝日町農林振興課）